

日本語学級 教室案内 【総合版】

北区立堀船小学校 日本語適応指導教室

1 日本語適応指導教室について

①学級目標

- ・進んで日本語を学ぶ子ども
- ・目標に向かって努力する子ども
- ・母国や日本の言葉や文化を大切にする子ども

②指導対象とする児童

- ・外国籍で、日本語が話せず、日本の学校教育に児童。
- ・外国籍で、日常会話は行えるが、教科学習で学習言語の獲得が難しい児童。
- ・日本国籍だが、保護者が外国語を母語とするため、日本語の能力を十分獲得していない児童。
- ・日本国籍だが、海外で生活していたため、日常会話や学習言語を十分獲得していない児童。

③指導対象 【学区域：堀船・王子第一・王子・滝野川第五・としま若葉・柳田・東十条・豊川】

◆堀船小学校 在籍児童 1年生～6年生

→特別な事情があれば、児童の母語を話す、「日本語適応指導員」を申請できる。

◆学区域内 通級児童 3年生～6年生

→1、2年生でも、保護者の送迎があれば通級可能。

それ以外は、在籍校で日本語適応指導員の指導を受ける。

→3年生～6年生でも、特別な事情があれば、日本語適応指導員を申請できる。

2 通級・退級について

①通級・退級とも、児童が在籍する学校が、必要な手続きを行います。

手続きの流れについては、公開フォルダ内にフローチャートがありますので、ご覧ください。

公開フォルダ → 教育振興部 → 学校支援課 → 学事係 → 日本語学級

※時間割を作成するために、在籍校の年間行事予定表・固定時間割表、学級の時間割表をあらかじめ、交換便またはメールで堀船小学校日本語学級へ送付してください。

②収納書類

- ①日本語適応指導教室「通級申込書」
- ②日本語適応指導教室「退級報告書」
- ③日本語適応指導教室保護者向けリーフレット（日本語版・中国語版・韓国語版・英語版）
- ④1人通級について
- ⑤日本語適応指導教室に通級をするには
- ⑥日本語適応指導教室を退級するには

③問い合わせ先

教育委員会事務局	学校支援課学事係	03-3908-1541
堀船小学校	日本語学級	03-3912-2131（学級直通）
		03-3912-2868（学校代表）

3 指導について（日本語教室の担任：以後「教師」 在籍学級の担任：以後「担任」）

①指導期間

- ・児童が通級指導を受けられるのは、原則2年間です。
- 年度の途中から通級を開始した場合は、年度末まで在籍できます。
- （例）入級：令和元年9月1日 退級：令和4年3月31日
- 児童の実態に応じて、2年を超えても通級指導を行える場合があります。
- 5⑤を参照してください。

②指導内容

<日本語指導>

- ◆日本語の基礎を指導します。
 - 日本語の様々な挨拶を学びます。
 - 様々なプリントを使い、文字の読み書き・語彙獲得・文型を学びます。
- ◆聞く力とともに、話す力を高め自分自身のことを話せるように指導します。
 - 日本語適応指導教室の教師と、日本語で会話をする楽しさを学びます。
- ◆読む力、書く力を高め、日本語の言葉の世界が広がるように指導します。
 - 読解プリントの他に、総ルビ付きの易しい読み物をたくさん読みます。
 - 季節や学校行事に基づいて、生活作文を書くことを経験します。

<適応指導>

- ◆公立小学校の生活が理解できるように指導します。
 - 学校生活の流れ、給食・掃除の仕方、プールや様々な学校行事の内容を理解します。
 - ※ 必要に応じて、遠足・自然教室・社会科見学の行程、必要な情報等も伝えます。
- ◆日本の文化伝統を理解したり、母国や日本を敬う心を育てたりできるように指導します。
 - 季節ごとの日本の伝統行事について学びます。
 - 母国での体験を話し、母国を愛する心も育てます。

<教科指導>

- ◆教科書を使って、各教科の学習内容が理解できるように指導します。
 - 当該学年までの漢字の正しい読み書きを学びます。
 - 各教科の学習用語について、意味を正しく理解します。
 - 教科書の内容や、教師が説明している内容が理解できるようにします。
 - 学習した内容を、日本語で話したり、書いたりできるようにします。
 - 日本語で在籍学級の友達と話し合いができるように、教師の質問に答えます。
 - ※ 児童の実態に応じて、在籍学級での学習内容を補充したり、先取りしたりします。

③指導体制

- ◆教師と1対1指導を基本とします。
 - 堀船小学校日本語学級では、教師が2人、中国人講師が1人（週10時間）指導します。
- ◆指導時間
 - 1児童1回あたり、90分を基本とします。
 - 児童の実態に応じて1回～4回まで変動します。指導の途中で変更することもあります。
 - 堀船小学校の児童は、1回の指導が45分になることもあります。
- ◆通級時間
 - 午前 ① 8:30～10:00 （自宅から通級し、在籍校に登校します。）
 - ② 10:30～12:00 （在籍校から通級し、在籍校に戻ります。）
 - 午後 ③ 13:30～15:00 （在籍校から通級し、自宅に帰ります。）
- ◆通級回数・時間の決定
 - 2①の入級手続き終了後に、在籍学級の時間割を考慮し、専科・実技教科をなるべく避けるようにして指導日を設定します。
 - 1月分の「指導日一覧表」を交換便で担任に送付します。児童用も同封しますので、児童に渡してください。保護者へは、教師から電話で連絡します。
 - 翌月の「指導日一覧表」は、在籍学級の担任へ交換便で、月末に送付します。児童には、「児童用」を教師が直接手渡して、説明し、通級日を理解させます。
 - ※ 必要に応じて、担任と教師が連絡を取り合います。

4 通級の決まり

①通級方法

- ◆原則、通級の往復には保護者が付き添います。
→ やむを得ない場合は、2②④の「一人通級願い」を提出し、安全に気をつけて通級します。
- ◆徒歩または、公共交通機関で通級します。
→ 自転車、自家用車、タクシー等では通級できません。
※ 就学援助対象家庭には、後日、区から交通費が支給されます。

②定時連絡（最終ページ参照）

- ◆通級する前に、児童が「でんわのかけかた」を使い、日本語学級に電話連絡します。
→ 午前①は、自宅からかけます。 午後②、午後③は、在籍校からかけます。
- ◆日本語学級到着時に、在籍校に電話連絡します。
- ◆指導終了字に、在籍校に電話連絡し、再登校または自宅に帰ります。

③欠席連絡

- ◆指導日に、児童が在籍校を欠席するときは、保護者が日本語学級にも欠席連絡をします。
→ 保護者から欠席連絡がなく、指導時間に通級しないときは、教師が在籍校に電話します。

5 日本語学級教師と在籍学級担任・保護者との連絡

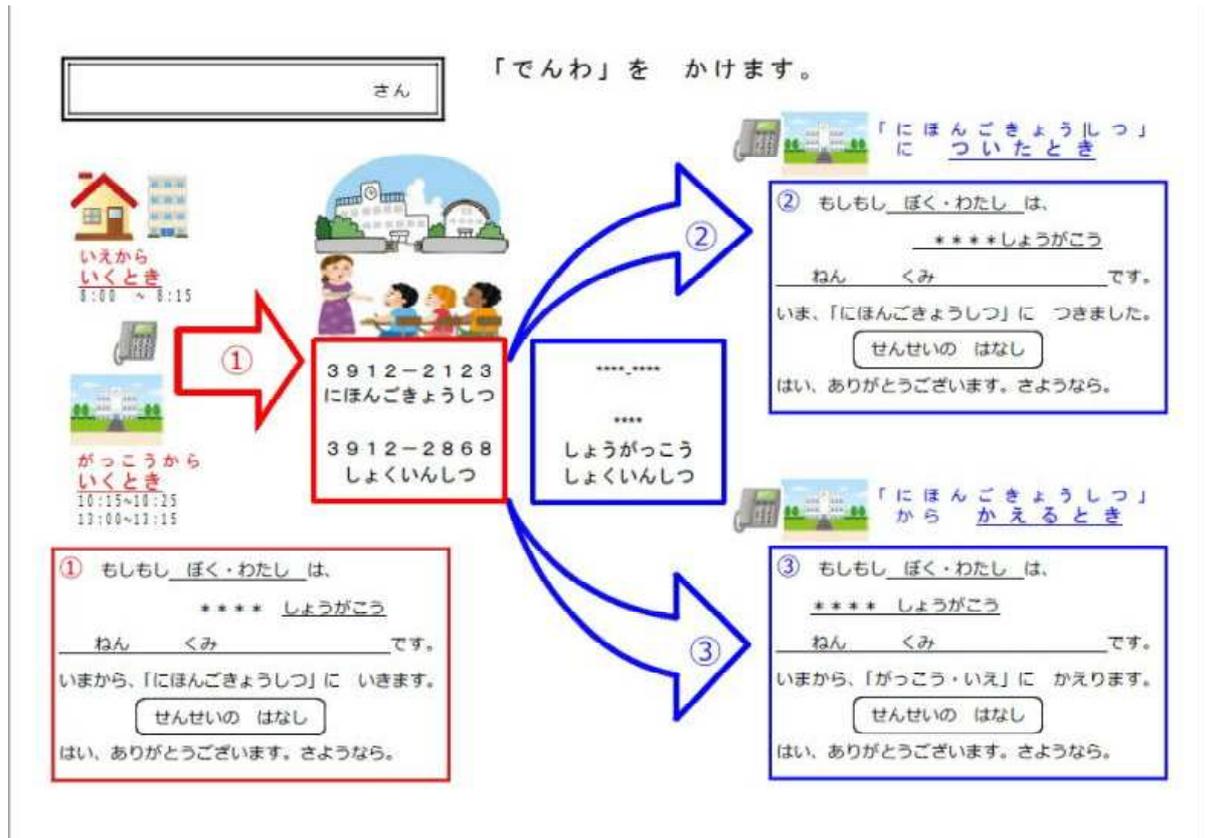
①日本語学級の教師 ↔ 在籍学級の担任

- ◆指導内容の報告
→ 児童が購入した、「日本語ファイル」に記録をはさむので、確認して押印してください。
- ◆毎月の指導日 「指導日一覧表」
→ 3③参照 児童の在籍学級での様子を簡単に記載して、交換便で返送してください。
学年便り等を同封してください。
堀船小学校や教師の諸事情により、指導できない日があります。「×」と記載します。
→ 運動会や文化的行事、水泳指導などの特別時間割を、適時同封してください。
- ◆在籍校訪問
→ 1年に1, 2回、児童の様子を見学し、教師が在籍校に行きます。
休み時間や放課後を活用して、担任と少し話す時間を設けてください。
- ◆諸届け
①「特別な教育課程（届）」 ②「2年超通級希望理由書」
→ 児童の通級に必要な書類です。年度末に、在籍校長宛に「作成の手引き」と共に送ります。
③通訳の派遣依頼
→ 個人面談などで通訳が必要なときは、2週間前までに下記へ連絡してください。
「総務部 総務課 国際理解担当」（日程調整後、必要書類を提出してください。）

②日本語学級の教師 ↔ 保護者

- ◆毎月の授業日 → 3③参照 ◆授業の欠席 → 4②参照
- ◆個人面談
→ 入級時面談を行い、家族構成や生育歴、母国での学習状況を聞き取ります。
7月、11月に個人面談を実施します。また、必要に応じて、電話や対面で連絡をとります
- ◆通知表
→ 1学期、2学期末に、教師が作成し、担任から手渡します。
児童の実態に応じて、①「入門用」 ②「初・中級用」があります。

【通級児童が使用する「でんわのかけかた」】



【日本語学級への道順】



〒114-0004 東京都北区堀船2-11-9
 03-3912-2123 (日本語適応指導教室直通 電話・FAX)
 03-3912-2868 (職員室)

※ 王子駅南口より徒歩10分 明治通りにある東京書籍を目印にしてご来校下さい。